

(地域情報発信の強化－ 3)

地域の埋もれた魅力を浮上させる観光クラウド
地域のオープンデータ活用モデル
(株式会社富士通システムズ・イースト)

【概要】

当社では個人旅行者の車での自由な周遊ルート計画を支援するWeb上でのルートガイドサービスを開発し、県内30団体の観光サイトで共同利用しています。

また、公共の保有する観光情報を民間開放(オープンデータ)し、それを活用した地元レンタカー会社によるモバイル観光情報サービスを創出するなど、官民協働での観光情報サービスの創出に取り組んでいます。

【コラム】

2010年12月、東北新幹線新青森駅開業に伴い、青森県では個人旅行者が増加。現在8割を占める状況となっており、また、二次交通が車に依存することもあり、旅行者自身がそれぞれの目的で車を使って自由な地域巡り楽しんでいただくなど、個人旅行者に向けた情報支援態勢の充実が求められています。

そこで当社では旅行者自身が観光サイトやスマートフォン上から手軽に車での周遊ルート計画がたてられる「Webルートガイドサービス」を開発しました。(下図、特許技術)

これは自治体等の運営する観光サイトから、行きたい観光スポットをいくつか選択するだけで、車での最適ルートを自動計算。電子地図上に最適ルートを展開し、車での走行時間・走行距離も自動計算。さらに最適ルート周辺にある埋もれた寄り道スポットを浮上させ、名所のみならずルート周辺の埋もれた地域資源の発見機会を提供します。

【車での自由な周遊計画をつくるMyルートガイドサービス】



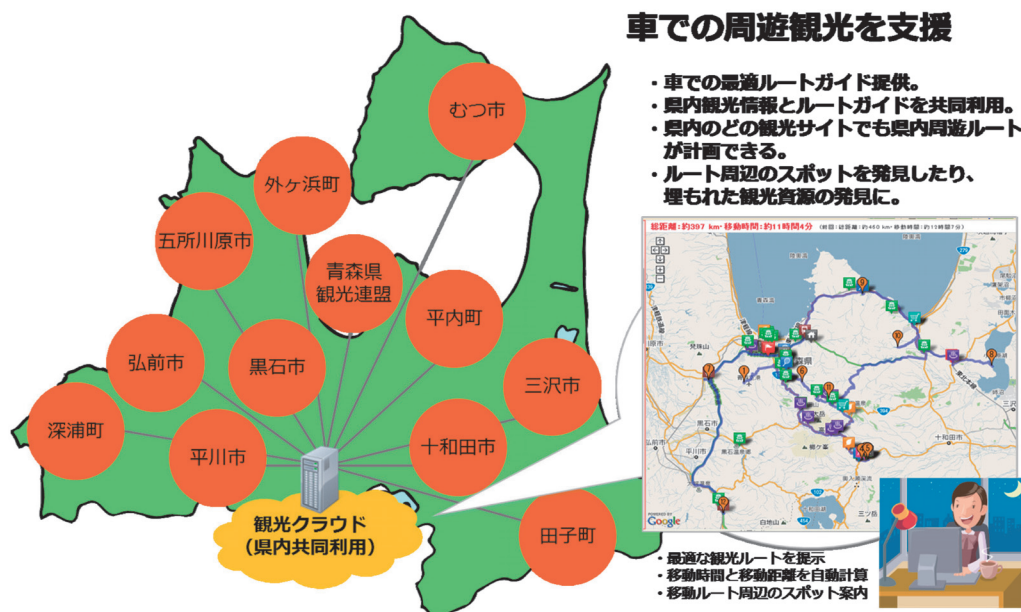
Webルートガイドは観光クラウドとして地域で共同利用。現在、県内30団体の観光サイトで利用されています。また、当社と青森県観光連盟様や各県内自治体様との協働により、県内の豊富な観光情報を民間で二次利用できるオープンデータとして活用。県内のさまざま観光サイト上でWebルートガイドを提供し、広く県内の周遊ルート計画ができる情報支援態勢を整えました。

また、前述のオープンデータ(観光情報)は、地域の新たな観光情報拠点として地元レンタカー会社でも活用。スマートフォンで周遊ルート案内のできる先進のモバイル観光案内サービスを開発し、地元レンタカー会社を通じて旅行者へ提供しています。オープンデータを活用することで情報収集コストや維持負担が解消されるとともに、レンタカー利用者へ地元ならではの密な観光情報を提供しています。

このように青森県では公共団体の保有する観光情報をオープンデータとして活用することで、官民による様々な地域情報サービスが創出されています。

Webルートガイドは青森県をはじめ全国12県(48団体)に展開されています。

【県内観光サイトで共同利用。県をあげて旅行者の周遊計画を支援】



〔参照モデル〕

観光クラウドはH20年度総務省地域ICT利活用モデル構築事業(青森県五所川原市)での事業成果を参照し、当社で共同利用型サービスとして進化させたモデルです。

(問い合わせ先)

株式会社富士通システムズ・イースト 青森オフィス 米田(まいた)
TEL:017-762-1053 e-mail:maita-t@jp.fujitsu.com